

## 【A年】

### 大齋節第三主日

全能の神よ、どうかあなたを呼び求める僕らの願いを心に留め、力あるみ手を差し延べてすべての敵を防いでください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

### 旧約聖書

朗読者 「旧約聖書は出エジプト記第十七章一節から」

1 主の命令により、イスラエルの人々の共同体全体は、シンの荒れ野を出発し、旅程に従って進み、レフィダイムに宿営したが、そこには民の飲み水がなかった。2 民がモーセと争い、「我々に飲み水を与えよ」と言うとき、モーセは言った。

「なぜ、わたしと争うのか。なぜ、主を試すのか。」  
3 しかし、民は喉が渴いてしかたないので、モーセに向かつて不平を述べた。

「なぜ、我々をエジプトから導き上ったのか。わたしも子供たちも、家畜までも渴きで殺すためののか。」

4 モーセは主に、「わたしはこの民をどうすればよいのですか。彼らは今にも、わたしを石で打ち殺そうとしています」と叫ぶと、5 主はモーセに言われた。

「イスラエルの長老数名を伴い、民の前を進め。また、ナイル川を打った杖を持って行くがよい。6 見よ、わたしはホレブの岩の上でああなたの前に立つ。あなたはその岩を打て。そこから水が出て、民は飲むことができる。」

モーセは、イスラエルの長老たちの目の前でそのとおりにした。7 彼は、その場所をマサ（試し）とメリバ（争い）と名付けた。イスラエルの人々が、「果たして、主は我々の間におられるのかどうか」と言いつて、モーセと争い、主を試したからである。

朗読者 「旧約を聖書を終わります」

### 詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第九十五編 六十一節

6 身を低くして伏し拝み＝ 造り主、主のみ前にひざまず

（こう）

7 主はわたしたちの神、わたしたちは神の民＝ わたした

ちはその牧場の民、そのみ手の羊

8 今日、神の声を聞くなら、メリバのあのときのように＝

マツサの荒野の日のように、心をかたくなにしてはならない

9 あのとき、あなたがたの先祖は＝ わたしの業を見たが、

わたしを試し二ころみた

10 四十年の間、わたしを悩ませた民に言った＝ 「彼らは

心の迷った民、わたしの道を知らない」

11 わたしは怒って誓った＝ 「彼らをわたしの安息に入ら

せない」

使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第五章一節から」

1 このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、2 このキリストのお陰で、今の恵みに信仰

によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。3 そればかりでなく、苦難をも誇りとします。

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、4 忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。5 希望はわたしたちを欺

くことがありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。6 実にキ

リストは、わたしたちがまだ弱かったころ、定められた時に、不信心な者のために死んでくださった。7 正しい人のために

死ぬ者はほとんどいません。善い人のために命を惜しまない者ならいるかもしれませぬ。8 しかし、わたしたちがまだ

罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。9 それで今や、わたしたちはキリストの血によって義

とされたのですから、キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。10 敵であったときさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解さ

せていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。11 それだけでなく、わたしたちの主イエス・キリス

トによって、わたしたちは神を誇りとしています。今やこのキリストを通して和解させていただいたからです。

朗読者 「使徒書を終わります。」

## 福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ヨハネによる福音書第四章五節以下に記された主

イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

5 それで、ヤコブがその子ヨセフに与えた土地の近くにある、シカルというサマリアの町に來られた。6 そこにはヤコブの井戸があった。イエスは旅に疲れて、そのまま井戸のそばに座っておられた。正午ごろのことである。

7 サマリアの女が水をくみに來た。イエスは、「水を飲ませてください」と言われた。8 弟子たちは食べ物を買うために町に行っていた。9 すると、サマリアの女は、「ユダヤ人のあなたがサマリアの女のわたしに、どうして水を飲ませてほしいと頼むのですか」と言った。ユダヤ人はサマリア人とは交際しないからである。10 イエスは答えて言われた。「もしあなたが、神の賜物を知っており、また、『水を飲ませてください』と言ったのがだれであるか知っていたならば、あなたの方からその人に頼み、その人はあなたに生きた水を与えたことであろう。」11 女は言った。「主よ、あなたはくむ物

をお持ちでないし、井戸は深いのです。どこからその生きた水を手にお入れになるのですか。12 あなたは、わたしたちの父ヤコブよりも偉いのですか。ヤコブがこの井戸をわたしたちに与え、彼自身も、その子供や家畜も、この井戸から水を飲んだのです。」13 イエスは答えて言われた。「この水を飲む者はだれでもまた渇く。14 しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渇かない。わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。」15 女は言った。「主よ、渇くことがないように、また、ここにくみに來なくてもいいように、その水をください。」

16 イエスが、「行って、あなたの夫をここに呼んで來なさい」と言われると、17 女は答えて、「わたしには夫はいません」と言った。イエスは言われた。「夫はいません」とは、まさにそのとおりだ。18 あなたには五人の夫がいたが、今連れ添っているのは夫ではない。あなたは、ありのままを言ったわけだ。」19 女は言った。「主よ、あなたは預言者だとお見受けします。20 わたしどもの先祖はこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムにあると言っています。」21 イエスは言われた。「婦人よ、わたしを信じなさい。あなたがたが、この山でもエルサレムでもない所で、父を礼拝する時が來る。22 あなたがたは知らないものを礼拝しているが、わたしたちは知っているものを礼拝している。救いはユダヤ人から來るからだ。23 しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が來る。今がその時である。なぜなら、父はこのように礼拝する者を求

めておられるからだ。24 神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもつて礼拝しなければならぬ。」25 女が言った。「わたしは、キリストと呼ばれるメシアが来られることは知っています。その方が来られるとき、わたしたちに一切のことを知らせてくださいます。」26 イエスは言われた。「それは、あなたと話をしているこのわたしである。」

39 さて、その町の多くのサマリア人は、「この方が、わたしの行ったことをすべて言い当てました」と証言した女の言葉によって、イエスを信じた。40 そこで、このサマリア人たちはイエスのもとにやって来て、自分たちのところにとどまるように頼んだ。イエスは、二日間そこに滞在された。41 そして、更に多くの人々が、イエスの言葉を聞いて信じた。42 彼らは女に言った。「わたしたちが信じるのは、もうあなたが話してくれたからではない。わたしたちは自分で聞いて、この方が本当に世の救い主であると分かったからです。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」